

事業所名：ふるーれプラス 支援プログラム（児童発達支援）

法人理念	発達に心配のある幼児に対し、個々の年齢や特性を踏まえて、日常生活における基本的な動作の習得、知識技能の獲得、集団生活への適応などを目的とする個別指導を行います。
支援方針	幼児ひとり一人の身体および精神の状況や環境に応じて、適切で効果的な指導および訓練を行います。
営業時間	（平日） 09:15 ~ 17:15、（土曜） 09:15 ~ 16:30
サービス提供時間	平日 9:30~11:30、13:30~15:30（金のみ~17:15） （現在、土曜日は幼児の受け入れはありません） 基本的に週1回、曜日と時間帯を決めて1時間の個別指導の利用です。
送迎実施	送迎サービスはありません。

プログラム	支援内容	領域
身支度	靴の脱ぎ履き、手洗い、上着の着脱、荷物の片付けなど	A
質問タイム クイズ	乗物や動物の絵カードから好きな方を選ぶ、昨日の体験など先生との会話を楽しみます。2つ3つのヒントで推測するカルタ取り等のゲームを通して、簡単な概念の形成を促します。	D E C
教材	自作の教材を自分で操作することで、色や形、数などの学習をします。教材を片付けることで活動の終わりを身につけます。	B C
製作	季節に応じ作品を作ります。シール貼り、クレヨン、ハサミなどの操作、色や図形への着目などを促します。	B C
水分補給	持参の飲み物で水分補給し、気分の切り替えをします。	A
感覚遊び	くすぐり遊びや揺れ（シーツブランコ）遊びなどを楽しみながら、体性感覚への刺激に慣れていきます。	B
ルールのある遊び	すごろくなど簡単なゲームやアスレチックなどの運動遊びを通して、合図まで待つ、順番を守るなどのルールを理解していきます。	B E
自由遊び	スタッフとのままごとやごっこ遊びなどを通して、社会性の発達や意思疎通の力を評価し、コミュニケーションの力を養います。	D E
読み聞かせ	絵本やパネルシアターを着席して見ることを身につけます。	D E

A：健康・生活 B：運動・感覚 C：認知・行動 D：言語・コミュニケーション E：人間関係・社会性

家族支援	毎回の療育の後に具体的に状態象や成果、課題などを少しずつお伝えします。予約制で心理職による事業所内相談支援を行います。
移行支援	就学に備えて、就学相談の受け方や、就学支援シート作成の相談に応じます。
地域支援・ 地域連携	地域の子ども対象にコンサートや人形劇を開催しています。ふるーれプラスご利用のお子さんも参加し交流を図ります。
職員の質の向上	各職員の区主催の専門研修受講を支援します。職場内でOJTをすすめます。
主な行事等	通年を通して週1回の個別指導ですので、集団での行事等はありません。